

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

鳥取県公報

毎週火曜日及び
金曜日発行

(当日が休日のときは、その翌日)

目 次

- ◇規 則 現業職員の給与に関する規則の一部を改正する規則
- ◇人委規則 最高号給等を受ける特定の教育職員の給料の切替え等に関する規則
- 義務教育等教員特別手当に関する規則
- 職員の特任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則
- 職員の特殊勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則
- 警察職員の特殊勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則
- 最高号給等を受ける職員の給料の切替え等に関する規則
- 職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則
- 職員の給与の支給に関する規則の一部を改正する規則
- 初任給調整手当の支給に関する規則の一部を改正する規則
- 住居手当に関する規則の一部を改正する規則
- 通勤手当の支給に関する規則の一部を改正する規則
- 義務教育等教員特別手当に関する規則の一部を改正する規則

規則

- 警察職員の退職手当の額から控除する額に関する規則の一部を改正する規則
- 職員の旅費に関する条例施行規則の一部を改正する規則
- ◇企業管理規程 企業職員の給与に関する規程の一部を改正する企業管理規程

規 則

現業職員の給与に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

鳥取県規則第六十七号

現業職員の給与に関する規則の一部を改正する規則

現業職員の給与に関する規則（昭和三十二年十月鳥取県規則第四十六号）の一部を次のように改正する。

第五条第一項第四号を次のように改める。

四 公共土木施設等災害応急作業

第五条第四項中「百五十円」を「二百十円」に改め、同条第六項中「百円」を「百四十円」に、「六十円」を「八十四円」に改め、同条第十項中「二百三十円」を「三百十円」に、「百三十八円」を「百八十六円」に改

め、同条第十二項及び第十四項中「百五十円」を「二百十円」に改め、同条第十六項中「二百八十円」を「三百十円」に、「百六十八円」を「百八十六円」に改める。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年四月一日から適用する。
- 2 改正前の現業職員の給与に関する規則の規定に基づいて昭和五十年四月一日からこの規則の施行の日の前日までの間に職員に支払われた特殊勤務手当は、改正後の現業職員の給与に関する規則の規定による特殊勤務手当の内払とみなす。

人事委員会規則

最高号給等を受ける特定の教育職員の給料の切替え等に関する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第十八号

最高号給等を受ける特定の教育職員の給料の切替え等に関する規則

(目的)

第一条 この規則は、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(昭和

和五十年十二月鳥取県条例第四十二号。以下「改正条例」という。)附則第五項の規定に基づき、最高号給等を受ける特定の教育職員の給料の切替え等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(最高号給等職員)

第二条 改正条例附則第五項の人事委員会規則で定める職員は、昭和五十年一月一日(以下「切替日」という。)において、改正条例による改正前の職員の給与に関する条例(昭和二十六年二月鳥取県条例第三号。以下「改正前の条例」という。)の規定によりその者が属していた職務の等級が別表のイ又はロの表(以下「切替表」という。)に掲げられている職務の等級である職員及び教育職給料表(一)又は教育職給料表(二)の一等級である職員(以下「最高号給等職員」という。)とする。

(号給等の切替え)

第三条 最高号給等職員のうち、切替日において、改正前の条例の規定によりその者が属していた職務の等級が切替表に掲げられている職務の等級である職員(第五条第一号に掲げる職員を除く。)で切替日において改正前の条例の規定によりその者の受けていた号給又は給料月額(以下「旧号給等」という。)が切替表の旧号給等欄に掲げられている号給又は給料月額であるものの切替日における改正条例による改正後の職員の給与に関する条例(以下「改正後の条例」という。)の規定による号給又は給料月額(以下「新号給等」という。)は、旧号給等に対応する切替表の新号給等欄に定める号給又は給料月額とし、改正条例附則第二項の規定により切替日における職務の等級が改正条例附則別表第一の乙欄に定める職務の等級(一等級に限る。)となる職員の新号給等は、旧号給等と同じ号数の号給又は同じ額の給料月額とする。

(期間の通算)

第四条 前条の規定により新号給等を決定される職員に対する切替日後における最初の改正後の条例第四条第八項ただし書の規定の適用については、旧号給等を受けていた期間(人事委員会の定める職員にあつては、人事委員会の定める期間を増減した期間)を新号給等を受ける期間に通算する。

(特定の職員の切替え等)

第五条 最高号給等職員のうち次の各号に掲げる職員の新号給等及びこれを受ける期間に通算されることとなる期間は、あらかじめ人事委員会の承認を得て定めるものとする。

- 一 改正条例附則第二項の規定により切替日における職務の等級が改正条例附則表第一の甲欄に定める職務の等級となる職員
- 二 旧号給等が切替表に掲げられていない職員(改正条例附則第二項の規定により切替日における職務の等級が改正条例附則表第一の乙欄に定める職務の等級(一等級に限る。)となる職員及び前号に掲げる職員を除く。)

(雑則)

第六条 この規則に定めるもののほか、最高号給等を受ける特定の教育職員給料の切替え等に関し必要な事項は、人事委員会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年一月一日から適用する。

別表 最高号給等職員の号給等の切替表(第二条関係)
イ 教育職給料表(イ)の適用を受ける者

| 職務の等級 | 2 等 級 | | 3 等 級 | |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号給又は給料月額 | 37号給 円 236,100 | 37号給 円 239,800 | 35号給 円 172,100 | 35号給 円 174,900 |
| | 238,700 | 242,400 | 173,900 | 176,700 |
| | 241,300 | 245,000 | 175,700 | 178,500 |
| | 243,900 | 247,600 | 177,500 | 180,300 |
| | 246,500 | 250,200 | 179,300 | 182,100 |

ロ 教育職給料表(ロ)の適用を受ける者

| 職務の等級 | 2 等 級 | | 3 等 級 | |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号給又は給料月額 | 39号給 円 224,200 | 39号給 円 229,800 | 31号給 円 150,900 | 31号給 円 153,900 |
| | 226,400 | 232,000 | 152,600 | 155,600 |
| | 228,600 | 234,200 | 154,300 | 157,300 |
| | 230,800 | 236,400 | 156,000 | 159,000 |
| | 233,000 | 238,600 | 157,700 | 160,700 |

義務教育等教員特別手当に関する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第十九号

義務教育等教員特別手当に関する規則

(目的)

第一条 この規則は、職員の給与に関する条例(昭和二十六年二月鳥取県条例第三号。以下「条例」という。)第十六条の六の規定に基づき、義務教育等教員特別手当に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(教育職員)

第二条 条例第十六条の六第四項の人事委員会規則で定める職員は、校長、教頭、教諭、養護教諭、講師、助教諭、養護助教諭、実習助手及び寮母とする。

(権衡職員)

第三条 条例第十六条の六第三項に規定する高等学校等に勤務する教育職員には、条例第十一条の三の規定による産業教育手当又は条例第十一条の六の規定による定時制通信教育手当を支給される期間を除き、義務教育等教員特別手当を支給する。

(義務教育等教員特別手当の月額)

第四条 義務教育等教員特別手当の月額は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる額とする。

一 条例第十六条の六第一項に規定する職員で教育職給料表(一)の適用を受けるもの(第四号に掲げる職員を除く。)(その者の属する職務の等級及びその者の受ける号給に対応する別表第一に掲げる額

二 条例第十六条の六第一項に規定する職員で教育職給料表(一)の適用を受けるもの(第四号に掲げる職員を除く。)(その者の属する職務の等級及びその者の受ける号給に対応する別表第二に掲げる額

三 前条に規定する職員(次号に掲げる職員を除く。)(その者の属する職務の等級及びその者の受ける号給に対応する別表第二に掲げる額
四 職務の等級の最高の号給を超える給料月額を受ける職員(その者の属する職務の等級の最高の号給に対応する別表第一又は別表第二に掲げる額

(雑則)

第五条 この規則の実施に関し必要な事項は、人事委員会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年一月一日から適用する。

別表第一 教育職給料表(二)の適用を受ける者 (第四条関係)

| 職務の等級 号給 | 特 1 等 級 | 1 等 級 | 2 等 級 | 3 等 級 |
|-------------|---------|-------|-------|-------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 1 | 7,200 | — | 2,600 | — |
| 2 | 7,300 | 4,700 | 2,800 | 2,500 |
| 3 | 7,500 | 4,900 | 2,900 | 2,600 |
| 4 | 7,700 | 5,100 | 3,100 | 2,600 |
| 5 | 7,800 | 5,300 | 3,200 | 2,700 |
| 6 | 8,000 | 5,500 | 3,400 | 2,900 |
| 7 | 8,100 | 5,700 | 3,500 | 3,000 |
| 8 | 8,300 | 5,900 | 3,700 | 3,200 |
| 9 | 8,400 | 6,100 | 3,900 | 3,300 |
| 10 | 8,500 | 6,300 | 4,000 | 3,400 |
| 11 | 8,600 | 6,500 | 4,200 | 3,600 |
| 12 | 8,700 | 6,700 | 4,300 | 3,700 |
| 13 | 8,800 | 6,800 | 4,500 | 3,900 |
| 14 | 8,900 | 7,000 | 4,700 | 4,000 |
| 15 | 9,000 | 7,200 | 4,900 | 4,200 |
| 16 | | 7,300 | 5,100 | 4,300 |
| 17 | | 7,500 | 5,300 | 4,400 |
| 18 | | 7,700 | 5,500 | 4,600 |
| 19 | | 7,800 | 5,700 | 4,700 |
| 20 | | 8,000 | 5,900 | 4,900 |
| 21 | | 8,100 | 6,100 | 5,000 |
| 22 | | 8,300 | 6,300 | 5,100 |
| 23 | | 8,400 | 6,500 | 5,200 |
| 24 | | 8,500 | 6,700 | 5,300 |
| 25 | | 8,600 | 6,800 | 5,400 |
| 26 | | 8,700 | 7,000 | 5,500 |
| 27 | | 8,800 | 7,200 | 5,600 |
| 28 | | 8,900 | 7,300 | 5,700 |
| 29 | | 9,000 | 7,500 | 5,800 |
| 30 | | | 7,700 | 5,900 |
| 31 | | | 7,800 | 5,900 |
| 32 | | | 8,000 | |
| 33 | | | 8,100 | |
| 34 | | | 8,300 | |
| 35 | | | 8,400 | |
| 36 | | | 8,500 | |
| 37 | | | 8,600 | |
| 38 | | | 8,700 | |
| 39 | | | 8,800 | |

別表第二 教育職給料表(一)の適用を受ける者(第四条関係)

| 職務の等級 号給 | 特 1 等 級 | 1 等 級 | 2 等 級 | 3 等 級 |
|-------------|---------|-------|-------|-------|
| 1 | 7,200 | — | 2,900 | — |
| 2 | 7,300 | 5,500 | 3,100 | 2,500 |
| 3 | 7,500 | 5,700 | 3,200 | 2,600 |
| 4 | 7,700 | 5,900 | 3,400 | 2,600 |
| 5 | 7,800 | 6,100 | 3,500 | 2,700 |
| 6 | 8,000 | 6,300 | 3,700 | 2,900 |
| 7 | 8,100 | 6,500 | 3,900 | 3,000 |
| 8 | 8,300 | 6,700 | 4,000 | 3,200 |
| 9 | 8,400 | 6,800 | 4,200 | 3,300 |
| 10 | 8,500 | 7,000 | 4,300 | 3,400 |
| 11 | 8,600 | 7,200 | 4,500 | 3,600 |
| 12 | 8,700 | 7,300 | 4,700 | 3,700 |
| 13 | 8,800 | 7,500 | 4,900 | 3,900 |
| 14 | 8,900 | 7,700 | 5,100 | 4,000 |
| 15 | 9,000 | 7,800 | 5,300 | 4,200 |
| 16 | | 8,000 | 5,500 | 4,300 |
| 17 | | 8,100 | 5,700 | 4,400 |
| 18 | | 8,300 | 5,900 | 4,600 |
| 19 | | 8,400 | 6,100 | 4,700 |
| 20 | | 8,500 | 6,300 | 4,900 |
| 21 | | 8,600 | 6,500 | 5,000 |
| 22 | | 8,700 | 6,700 | 5,100 |
| 23 | | 8,800 | 6,800 | 5,200 |
| 24 | | 8,900 | 7,000 | 5,300 |
| 25 | | 9,000 | 7,200 | 5,400 |
| 26 | | | 7,300 | 5,500 |
| 27 | | | 7,500 | 5,600 |
| 28 | | | 7,700 | 5,700 |
| 29 | | | 7,800 | 5,800 |
| 30 | | | 8,000 | 5,900 |
| 31 | | | 8,100 | 5,900 |
| 32 | | | 8,300 | 6,000 |
| 33 | | | 8,400 | 6,100 |
| 34 | | | 8,500 | 6,100 |
| 35 | | | 8,600 | 6,200 |
| 36 | | | 8,700 | |
| 37 | | | 8,800 | |

職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則
をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十号

職員初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則

職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則（昭和三十二年十月鳥取県人事委員会規則第十号）の一部を次のように改正する。

第八条の第四項を次のように改める。

4 義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例（昭和四十六年十二月鳥取県条例第五十号。以下「特別措置条例」という。）の適用を受ける職員を教育職給料表(一)又は教育職給料表(二)の職務の等級特一等級又は一等級に昇格させた場合における当該昇格後の給料月額に関しては、特別措置条例第五条第一項の規定の適用がないものとして第一項各号の規定を適用するものとする。
第八条の第五第三項中「第五条第一項の規定」を削り、「職員を」の下に「教育職給料表(一)又は教育職給料表(二)の職務の等級特一等級又は一等級から」を加え、「同項」を「特別措置条例第五条第一項」に改める。

別表第三の四の表中

下「特殊学校」

を

護学校（以

する指導主

処理する教

処理する教

に改める。

一 高等学校の校長の職務
二 盲学校、ろう学校又は養護学校（以下「特殊学校」という。）の校長の職務
三 教育委員会事務局の指導主査の職務
四 喜多原学園の園長の職務

特
一
等
級

一 規模の大きい高等学校の校長の職務
二 規模の大きい盲学校、ろう学校又は養下「特殊学校」という。）の校長の職務
三 教育委員会事務局の困難な業務を処理
査の職務

一
等
級

一 高等学校の校長又は相当困難な業務を
頭の職務
二 特殊学校の校長又は相当困難な業務を
頭の職務
三 教育委員会事務局の指導主査の職務
四 喜多原学園の園長の職務

別表第三の五の表中

の園長の職務
会教育主査の職務

の職務
理する指導主査又
難な業務を処理す
会教育主査の職務

を

に改める。

| | | |
|---|---|--|
| 一等級 | 特一等級 | 一等級 |
| 一 中学校又は小学校の校長又は相当困る教頭の職務 二 教育委員会事務局の指導主査又は幼稚園の園長の職務 三 | 一 規模の大きい中学校又は小学の校長 二 教育委員会事務局の困難な業務を処理は社会教育主査の職務 | 一 中学校又は小学校の校長又は幼稚園 二 教育委員会事務局の指導主査又は社 |

改める。

別表第三の十三の表中

改める。

別表第三の十二の表中

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|
| | | | | | | | | | 一等級 |
| | | | | | | | | | 一一一一 |
| | | | | | | | | | 一四一四 |
| | | | | | | | | | 別に定める。 |

を

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|
| | | | | | | | | | 一等級 |
| | | | | | | | | | 一六一六 |
| | | | | | | | | | 一九一九 |
| | | | | | | | | | 別に定める。 |

を

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--------|
| | | | | | | | | | 一等級 | 特一等級 |
| | | | | | | | | | 一一一一 | 別に定める。 |
| | | | | | | | | | 一四一四 | 別に定める。 |
| | | | | | | | | | 別に定める。 | |

に

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--------|
| | | | | | | | | | 一等級 | 特一等級 |
| | | | | | | | | | 一六一六 | 別に定める。 |
| | | | | | | | | | 一九一九 | 別に定める。 |
| | | | | | | | | | 別に定める。 | |

に

別表第六の表中

| |
|----------|
| 一〇五、六〇〇円 |
| 八九、七〇〇円 |
| 七八、一〇〇円 |
| 六七、二〇〇円 |
| 一〇五、六〇〇円 |
| 八九、七〇〇円 |
| 七八、一〇〇円 |
| 六七、二〇〇円 |
| 七六、五〇〇円 |
| 六七、二〇〇円 |
| 六二、八〇〇円 |

を

| |
|----------|
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 七七、四〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 六三、三〇〇円 |

に改

別表第七の表中

| |
|----------|
| 一〇五、六〇〇円 |
| 八九、七〇〇円 |
| 七八、一〇〇円 |
| 六七、二〇〇円 |
| 一〇五、六〇〇円 |
| 八九、七〇〇円 |
| 七八、一〇〇円 |
| 六七、二〇〇円 |
| 七六、五〇〇円 |
| 六七、二〇〇円 |
| 六二、八〇〇円 |

を

| |
|----------|
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 七七、四〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 六三、三〇〇円 |

に改

め、同表の注中「七四、五〇〇円」を「七五、三〇〇円」に改める。

める。

別表第十三の表中

| | | |
|-----------|------|------|
| 教育職給料表(一) | 二五号給 | 一八号給 |
| 教育職給料表(二) | 二五号給 | 一五号給 |

を

| | |
|-----------|------|
| 教育職給料表(一) | 一七号給 |
| 教育職給料表(二) | 二〇号給 |

に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年一月一日から適用する。

職員の特殊勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十一号

職員の特殊勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則

職員の特殊勤務手当の支給に関する規則(昭和三十一年四月鳥取県人事委員会規則第五号)の一部を次のように改正する。

第五条の表の六級の項中「保健所の課長」を「本庁の健康対策課長、保

健所の課長」に改め、同表の七級の項を削る。

第九条の五第三項ただし書を削る。

第九条の二十六第二項第一号中「行なう」を「行う」に改め、同号(1)中「児童」の下に「(幼児を含む。以下この項において同じ。)」を加え、

同項第二号から第四号までの規定中「行なう」を「行う」に改め、同条第三項第一号中「千五百円」を「千七百円」に改め、同項第二号中「千円」を「千二百円」に改め、同項第三号中「千二百円」を「千四百円」に改め、同項第四号中「六百円」を「七百二十円」に改める。

第十条の二第二項中「但書及び条例第二十條第二項但書」を「ただし書」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年四月一日から適用する。

警察職員の特種勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十二号

警察職員の特種勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則

警察職員の特種勤務手当の支給に関する規則(昭和二十九年七月鳥取県人事委員会規則第十六号)の一部を次のように改正する。

第二条第一号及び第四号中「行なう」を「行う」に改め、同条に次の号を加える。

七 爆発物処理作業 爆発物容疑物件に接近して行う作業で人事委員会
が定めるもの

第三条第一項第一号中「五千円」を「七千円」に、「百五十円」を「二百円」に改め、同項第二号中「三千三百円」を「四千五百円」に改め、同項第三号中「三千八百円」を「五千円」に改め、同項第四号中「五千円」を「七千円」に、「三千八百円」を「五千円」に、「百五十円」を「二百円」に改め、同項第五号中「百五十円」を「二百円」に改め、同項第六号中「五百円」を「六百円」に改め、同項第七号中「条例第三条」を「条例第三条第一項」に、「二百円」を「二百八十円」に改め、同項第八号中「百円」を「百四十円」に改め、同項第九号中「条例第三条」を「条例第三条第一項」に、「百五十円」を「二百円」に、「四百円」を「五百円」に、「八百円」を「千円」に改める。

第三条第一項に次の一号を加える。

十 条例第三条第一項第十六号に掲げる作業 勤務一回につき二千円
第四条第一号中「四百五十円」を「六百六十円」に改め、同条第二号中「三百円」を「四百四十円」に、「二百四十円」を「三百五十円」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年四月一日から適用する。

最高号給等を受ける職員の給料の切替え等に関する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十三号

最高号給等を受ける職員の給料の切替え等に関する規則

(目的)

第一条 この規則は、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(昭和五十年十二月鳥取県条例第四十三号。以下「昭和五十年改正条例」という。)附則第六項の規定に基づき、最高号給等を受ける職員の給料の切替え等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(号給等の切替え)

第二条 昭和五十年改正条例附則第六項に規定する職員(以下「最高号給等職員」という。)のうち、昭和五十年十月一日(以下「切替日」という。)の前日におけるその者の号給又は給料月額が別表のイからチまでの表(以下「切替表」という。)の旧号給等欄に掲げられている職員の切替日における号給又は給料月額は、切替日の前日におけるその者の号給又は給料月額に対応する切替表の新号給等欄に定める号給又は給料月額とする。

(期間の通算)

第三条 前条の規定により切替日における号給又は給料月額を決定される職員に対する切替日以後における最初の職員の給与に関する条例(昭和

二十六年二月鳥取県条例第三号)第四条第六項又は第八項ただし書の規定の適用については、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に掲げる期間を切替日におけるその者の号給又は給料月額を受ける期間に通算する。

一 切替日における号給が職務の等級の最高の号給より下位の号給となる職員 切替日の前日におけるその者の号給又は給料月額を受けていた期間(人事委員会の定める職員にあつては、人事委員会の定める期間を増減した期間。以下「経過期間」という。)のうち十二月を超えない期間

二 切替日における号給が職務の等級の最高の号給となる職員 経過期間のうち十八月を超えない期間

三 切替日における給料月額が職務の等級の最高の号給を超える給料月額となる職員 経過期間

(特定の職員の切替え等)

第四条 最高号給等職員のうち切替日の前日におけるその者の給料月額が切替表の旧号給等欄に掲げられていない職員の切替日における給料月額及びこれを受ける期間に通算されることとなる期間は、あらかじめ人事委員会の承認を得て定めるものとする。

(雑則)

第五条 この規則に定めるもののほか、最高号給等を受ける職員の給料の切替え等に関し必要な事項は、人事委員会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

別表 最高号給等職員の号給等の切替表(第二条関係)

1 行政職給料表の適用を受ける者

| 職務の等級 | 特 1 等級 | | 1 等級 | | 2 等級 | | 3 等級 | | 4 等級 | | 5 等級 | | 6 等級 | | 7 等級 | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号給又は給料月額 | 15号給 円 | 14号給 円 | 16号給 円 | 15号給 円 | 18号給 円 | 17号給 円 | 19号給 円 | 18号給 円 | 21号給 円 | 20号給 円 | 20号給 円 | 19号給 円 | 19号給 円 | 19号給 円 | 18号給 円 | 17号給 円 |
| | 314,000 | 15号給 円 | 253,400 | 253,400 | 224,300 | 18号給 円 | 202,600 | 19号給 円 | 173,900 | 21号給 円 | 145,400 | 20号給 円 | 119,000 | 19号給 円 | 86,700 | 17号給 円 |
| | 318,200 | 339,900 | 257,100 | 277,000 | 227,600 | 19号給 円 | 205,700 | 20号給 円 | 175,900 | 22号給 円 | 147,200 | 160,800 | 120,600 | 131,700 | 88,000 | 96,000 |
| | 322,400 | 344,200 | 260,800 | 280,900 | 230,900 | 251,000 | 208,800 | 226,600 | 177,900 | 194,700 | 149,000 | 162,800 | 122,200 | 133,500 | 89,300 | 97,400 |
| | 326,600 | 348,500 | 264,500 | 284,800 | 234,200 | 254,400 | 211,900 | 229,800 | 179,900 | 196,900 | 150,800 | 164,800 | 123,800 | 135,300 | 90,600 | 98,800 |
| | 330,800 | 352,800 | 268,200 | 288,700 | 237,500 | 257,800 | 215,000 | 233,000 | 181,900 | 199,100 | 152,600 | 166,800 | 125,400 | 137,100 | 91,900 | 100,200 |

ロ 公安職給料表の適用を受ける者

| 職務の等級 | 1 等級 | | 2 等級 | | 3 等級 | | 4 等級 | | 5 等級 | | 6 等級 | | 7 等級 | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号給又は給料月額 | 18号給 円 | 17号給 円 | 18号給 円 | 17号給 円 | 20号給 円 | 19号給 円 | 25号給 円 | 24号給 円 | 29号給 円 | 28号給 円 | 32号給 円 | 31号給 円 | 34号給 円 | 33号給 円 |
| | 255,300 | 18号給 円 | 240,100 | 18号給 円 | 224,800 | 20号給 円 | 203,300 | 25号給 円 | 194,200 | 29号給 円 | 188,500 | 32号給 円 | 178,700 | 34号給 円 |
| | 258,900 | 281,000 | 243,400 | 19号給 円 | 227,900 | 21号給 円 | 205,900 | 26号給 円 | 196,600 | 30号給 円 | 190,800 | 33号給 円 | 180,900 | 197,900 |
| | 262,500 | 284,700 | 246,700 | 268,500 | 231,000 | 251,400 | 208,500 | 27号給 円 | 199,000 | 31号給 円 | 193,100 | 211,300 | 183,100 | 200,300 |
| | 266,100 | 288,400 | 250,000 | 271,900 | 234,100 | 254,600 | 211,100 | 230,900 | 201,400 | 220,700 | 195,400 | 213,300 | 185,300 | 202,700 |
| | 269,700 | 292,100 | 253,300 | 275,300 | 237,200 | 257,800 | 213,700 | 233,700 | 203,800 | 223,300 | 197,700 | 216,300 | 187,500 | 205,100 |

ハ 教育職給料表(一)の適用を受ける者

| 職務の等級 | 特 1 等 級 | | 1 等 級 | | 2 等 級 | | 3 等 級 | |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号 給 又 は 給 料 月 額 | 15号給 円 | 14号給 円 | 25号給 円 | 24号給 円 | 37号給 円 | 36号給 円 | 35号給 円 | 34号給 円 |
| | 284,200 | 15号給 円 | 273,900 | 25号給 円 | 239,800 | 37号給 円 | 174,900 | 35号給 円 |
| | 288,200 | 309,100 | 277,600 | 298,200 | 242,400 | 262,800 | 176,700 | 191,600 |
| | 292,200 | 313,300 | 281,300 | 302,000 | 245,000 | 265,500 | 178,500 | 193,500 |
| | 296,200 | 317,500 | 285,000 | 305,800 | 247,600 | 268,200 | 180,300 | 195,400 |
| | 300,200 | 321,700 | 288,700 | 309,600 | 250,200 | 270,900 | 182,100 | 197,300 |

ニ 教育職給料表(一)の適用を受ける者

| 職務の等級 | 特 1 等 級 | | 1 等 級 | | 2 等 級 | | 3 等 級 | |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号 給 又 は 給 料 月 額 | 15号給 円 | 14号給 円 | 29号給 円 | 28号給 円 | 39号給 円 | 38号給 円 | 31号給 円 | 30号給 円 |
| | 267,100 | 15号給 円 | 251,200 | 29号給 円 | 229,800 | 39号給 円 | 153,900 | 31号給 円 |
| | 270,600 | 291,500 | 253,800 | 275,000 | 232,000 | 252,400 | 155,600 | 168,900 |
| | 274,100 | 295,200 | 256,400 | 277,700 | 234,200 | 254,700 | 157,300 | 170,700 |
| | 277,600 | 298,900 | 259,000 | 280,400 | 236,400 | 257,000 | 159,000 | 172,500 |
| | 281,100 | 302,600 | 261,600 | 283,100 | 238,600 | 259,300 | 160,700 | 174,300 |

ハ 研究職給料表の適用を受ける者

| 職務の等級 | 1 等級 | | 2 等級 | | 3 等級 | | 4 等級 | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号給又は給料月額 | 26号給 円 | 25号給 円 | 27号給 円 | 26号給 円 | 26号給 円 | 25号給 円 | 25号給 円 | 24号給 円 |
| | 813,500 | 26号給 円 | 221,300 | 27号給 円 | 178,800 | 26号給 円 | 147,100 | 25号給 円 |
| | 817,200 | 339,300 | 224,100 | 244,500 | 181,500 | 27号給 円 | 149,200 | 26号給 円 |
| | 820,900 | 343,000 | 226,900 | 247,500 | 184,200 | 200,700 | 151,300 | 165,100 |
| | 824,600 | 346,700 | 229,700 | 250,500 | 186,900 | 203,600 | 153,400 | 167,400 |
| | 828,300 | 350,400 | 232,500 | 253,500 | 189,600 | 206,500 | 155,500 | 169,700 |

イ 医療職給料表(イ)の適用を受ける者

| 職務の等級 | 1 等級 | | 2 等級 | | 3 等級 | | 4 等級 | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号給又は給料月額 | 19号給 円 | 18号給 円 | 22号給 円 | 21号給 円 | 23号給 円 | 22号給 円 | 22号給 円 | 21号給 円 |
| | 321,600 | 19号給 円 | 291,800 | 22号給 円 | 259,100 | 23号給 円 | 206,100 | 22号給 円 |
| | 325,800 | 349,500 | 295,500 | 23号給 円 | 262,200 | 24号給 円 | 208,700 | 227,900 |
| | 330,000 | 353,800 | 299,200 | 322,600 | 265,300 | 238,200 | 211,300 | 230,700 |
| | 334,200 | 358,100 | 302,900 | 326,500 | 268,400 | 291,500 | 213,900 | 233,500 |
| | 338,400 | 362,400 | 306,600 | 330,400 | 271,500 | 294,800 | 216,500 | 236,300 |

ト 医療職給料表(白)の適用を受ける者

| 職務の等級 | 旧等級 | | 新等級 | | 旧等級 | | 新等級 | | 旧等級 | | 新等級 | | 旧等級 | | 新等級 | | 旧等級 | | 新等級 | | | | | | |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|--|
| | 特1等級 | 1等級 | 1等級 | 2等級 | 2等級 | 3等級 | 3等級 | 4等級 | 4等級 | 5等級 | 5等級 | 6等級 | 6等級 | 6等級 | 6等級 | 6等級 | 6等級 | 6等級 | 6等級 | 6等級 | | | | | |
| 号給又は給料月額 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | | | | | |
| | 16号給 円 258,700 | 15号給 円 282,500 | 19号給 円 212,300 | 18号給 円 233,400 | 22号給 円 175,700 | 21号給 円 196,500 | 22号給 円 143,500 | 21号給 円 160,700 | 20号給 円 115,100 | 19号給 円 127,500 | 13号給 円 81,600 | 12号給 円 90,300 | 16号給 円 262,400 | 15号給 円 286,400 | 19号給 円 215,400 | 18号給 円 236,600 | 22号給 円 179,900 | 21号給 円 198,700 | 22号給 円 145,300 | 21号給 円 162,700 | 20号給 円 118,300 | 19号給 円 129,300 | 13号給 円 82,900 | 12号給 円 91,700 | |
| | 256,100 | 286,400 | 218,500 | 236,600 | 179,900 | 196,500 | 147,100 | 160,700 | 118,300 | 129,300 | 84,200 | 91,700 | 269,800 | 290,300 | 221,600 | 239,800 | 182,000 | 198,700 | 148,900 | 162,700 | 119,900 | 131,100 | 85,500 | 93,100 | |
| | 273,500 | 294,200 | 224,700 | 243,000 | 184,100 | 200,900 | 150,700 | 164,700 | 121,500 | 132,900 | 86,800 | 94,500 | | | | | | | | | | | | | |

チ 医療職給料表(白)の適用を受ける者

| 職務の等級 | 特 1 等 級 | | 1 等 級 | | 2 等 級 | | 3 等 級 | | 4 等 級 | |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 | 旧号給等 | 新号給等 |
| 号給又は給料月額 | 22号給 円 245,600 | 21号給 円 270,800 | 27号給 円 215,000 | 26号給 円 237,400 | 28号給 円 192,300 | 27号給 円 212,700 | 30号給 円 163,500 | 29号給 円 180,800 | 29号給 円 139,900 | 29号給 円 141,700 |
| | 248,700 | 274,100 | 217,200 | 239,800 | 196,500 | 215,000 | 167,500 | 183,000 | 143,500 | 154,900 |
| | 251,800 | 277,400 | 219,400 | 242,200 | 198,600 | 217,300 | 169,500 | 185,200 | 145,300 | 156,900 |
| | 254,900 | 280,700 | 221,600 | 244,600 | 200,700 | 219,600 | 171,500 | 187,400 | 147,100 | 160,900 |
| | 258,000 | | 223,800 | | | | | | | |

職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則
をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十四号

職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則

職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則(昭和三十二年十月鳥取県人事委員会規則第十号)の一部を次のように改正する。

第二十三条から第二十九条までを次のように改める。
第二十三条から第二十九条まで 削除

別表第三の八の表中

| |
|------|
| 特一等級 |
| 一等級 |
| 二等級 |
| 三等級 |
| 四等級 |
| 五等級 |

を

| |
|-----|
| 一等級 |
| 二等級 |
| 三等級 |
| 四等級 |
| 五等級 |
| 六等級 |

に改める。

別表第三の十六の表中

| |
|------|
| 一等級 |
| 特一等級 |
| を |
| 六等級 |
| 五等級 |
| 四等級 |
| 三等級 |
| 二等級 |
| 三 |

等級 二等級 一等級
に改める。

別表第四の一の表中

| |
|---------|
| 七〇、〇〇〇円 |
| 六二、五〇〇円 |
| 五九、二〇〇円 |

を

| |
|---------|
| 七七、三〇〇円 |
| 六九、七〇〇円 |
| 六六、〇〇〇円 |

に改め、同表の二の表中

| |
|---------|
| 七二、八〇〇円 |
| 七〇、〇〇〇円 |

を

| |
|---------|
| 八〇、五〇〇円 |
| 七七、三〇〇円 |

に改める。

別表第五の表中

| |
|---------|
| 六六、一〇〇円 |
|---------|

を

| |
|---------|
| 七三、七〇〇円 |
|---------|

に改

める。

別表第六の表中

| |
|----------|
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 七七、四〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 六三、三〇〇円 |

を

| |
|----------|
| 一一七、九〇〇円 |
| 九九、九〇〇円 |
| 八六、七〇〇円 |
| 七五、一〇〇円 |
| 一一七、九〇〇円 |
| 九九、九〇〇円 |
| 八六、七〇〇円 |
| 七五、一〇〇円 |
| 八五、二〇〇円 |
| 七五、一〇〇円 |
| 七〇、一〇〇円 |

に改

め、同表の注中「七五、三〇〇円」を「八二、八〇〇円」に改める。

別表第七の表中

| |
|----------|
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 一〇七、二〇〇円 |
| 九〇、九〇〇円 |
| 七九、〇〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 七九、四〇〇円 |
| 六七、九〇〇円 |
| 六三、三〇〇円 |

を

| |
|----------|
| 一一七、九〇〇円 |
| 九九、九〇〇円 |
| 八六、七〇〇円 |
| 七五、一〇〇円 |
| 一一七、九〇〇円 |
| 九九、九〇〇円 |
| 八六、七〇〇円 |
| 七五、一〇〇円 |
| 八五、二〇〇円 |
| 七五、一〇〇円 |
| 七〇、一〇〇円 |

に改

める。

別表第八の一の表中

| |
|---------|
| 七〇、五〇〇円 |
| 六二、七〇〇円 |

を

| |
|---------|
| 七八、〇〇〇円 |
| 六九、九〇〇円 |

に改め、同表の二の表中

| |
|---------|
| 七三、三〇〇円 |
| 七〇、五〇〇円 |

を

| |
|---------|
| 八一、二〇〇円 |
| 七八、〇〇〇円 |

に改め、同表の三の表中

| |
|----------|
| 一〇五、四〇〇円 |
| 九六、八〇〇円 |
| 八〇、一〇〇円 |

を

| |
|----------|
| 一一六、八〇〇円 |
| 一〇七、四〇〇円 |
| 八九、〇〇〇円 |

に改める。

別表第九の表中

| |
|----------|
| 一五二、五〇〇円 |
| 一一〇、五〇〇円 |
| 一〇二、五〇〇円 |
| 九七、一〇〇円 |

を

| |
|----------|
| 一六九、三〇〇円 |
| 一一三、八〇〇円 |
| 一一三、八〇〇円 |
| 一〇七、八〇〇円 |

に改

める。

別表第十の表中

| |
|---------|
| 七一、六〇〇円 |
| 六八、一〇〇円 |
| 六二、九〇〇円 |
| 七一、六〇〇円 |
| 六八、一〇〇円 |
| 六二、九〇〇円 |
| 七一、六〇〇円 |
| 六八、一〇〇円 |
| 六二、九〇〇円 |
| 七一、六〇〇円 |
| 六八、一〇〇円 |
| 六二、九〇〇円 |
| 五九、三〇〇円 |

を

| |
|---------|
| 七九、五〇〇円 |
| 七五、七〇〇円 |
| 七〇、一〇〇円 |
| 七九、五〇〇円 |
| 七五、七〇〇円 |
| 七〇、一〇〇円 |
| 七九、五〇〇円 |
| 七五、七〇〇円 |
| 七〇、一〇〇円 |
| 七九、五〇〇円 |
| 七五、七〇〇円 |
| 七〇、一〇〇円 |
| 六六、一〇〇円 |

に改

める。

別表第十一の表中

| |
|---------|
| 七六、〇〇〇円 |
| 七二、九〇〇円 |
| 七二、九〇〇円 |
| 六九、九〇〇円 |
| 六一、三〇〇円 |

を

| |
|---------|
| 八四、五〇〇円 |
| 八一、一〇〇円 |
| 八一、一〇〇円 |
| 七七、七〇〇円 |
| 六八、三〇〇円 |

に

改める。

別表第十三の表を次のように改める。

| 職務の等級 | 給料表 | 行政職給料表 | 公安職給料表 | 教育職給料表(一) | 教育職給料表(二) | 研究職給料表 | 医療職給料表(一) | 医療職給料表(二) | 医療職給料表(三) |
|-------|------|--------|--------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|
| 一等級 | 九号給 | | | 一八号給 | 二一号給 | | | | 一五号給 |
| 特二等級 | | | | | | | 一〇号給 | | |
| 二等級 | 一一号給 | 一九号給 | 二七号給 | 二六号給 | 一六号給 | 二一号給 | 一六号給 | 一六号給 | 一五号給 |
| 三等級 | 一八号給 | 二〇号給 | 一八号給 | 一五号給 | 一三号給 | 一六号給 | 一六号給 | 一四号給 | 一五号給 |
| 四等級 | 一四号給 | 一七号給 | | | 一五号給 | 一五号給 | 一五号給 | 一四号給 | 二三号給 |
| 五等級 | 一一号給 | 一五号給 | | | | | | 一二号給 | |
| 六等級 | 九号給 | 二三号給 | | | | | | 九号給 | |
| 七等級 | 一一号給 | 二七号給 | | | | | | | |

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

職員の給与の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十五号

職員給与の支給に関する規則の一部を改正する規則

職員の給与の支給に関する規則(昭和二十七年三月鳥取県人事委員会規則第三号)の一部を次のように改正する。

第九条第二項第二号中「五十二万円」を「五十八万円」に、「四万三千三百三十四円」を「四万八千三百三十四円」に改める。

第二十三条第二項中「県費負担教職員」を「多学年学級担当業務従事職員」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

初任給調整手当の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十六号

初任給調整手当の支給に関する規則の一部を改正する規則

初任給調整手当の支給に関する規則(昭和三十七年三月鳥取県人事委員会規則第十号)の一部を次のように改正する。

第二条第四項第四号中「三等級」を「四等級」に改める。

第三条各号列記以外の部分中「第五号」を「第六号」に、「三十七年、

第六号の職員にあつては二十二年」を「三十七年」に改める。

第五条第一項中「第三条第六号の職員及び前条第六号の職員にあつては二十年、」を削る。

第六条に次の一項を加える。

3 第一項後段に規定する職員のうち同項後段の規定の適用により初任給調整手当の月額が別表第二に掲げられていないこととなつた職員で特別の事情があると認められるものについて任命権者があらかじめ人事委員会の承認を得た場合の当該職員に支給する初任給調整手当の月額及び支給期間は、同項の規定にかかわらず、人事委員会が別に定めるところによる。
別表第二を次のように改める。

別表第二 (第六条関係)

| 職員の区分 期間の区分 | 1 項 職 員 | | | | | 2項職員 | 3項職員 | 4項職員 |
|----------------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 1 種 | 2 種 | 3 種 | 4 種 | 5 種 | | | |
| 1 年 未 満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 30,000 | 2,500 | 1,000 |
| 1年以上2年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 30,000 | 2,000 | 700 |
| 2年以上3年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 30,000 | 1,500 | 400 |
| 3年以上4年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 30,000 | 1,000 | |
| 4年以上5年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 30,000 | 500 | |
| 5年以上6年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 30,000 | | |
| 6年以上7年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 28,300 | | |
| 7年以上8年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 26,600 | | |
| 8年以上9年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 24,900 | | |
| 9年以上10年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 23,200 | | |
| 10年以上11年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 21,500 | | |
| 11年以上12年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 19,800 | | |
| 12年以上13年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 18,100 | | |
| 13年以上14年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 16,400 | | |
| 14年以上15年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 15,200 | | |
| 15年以上16年未満 | 140,000 | 130,000 | 115,000 | 90,000 | 60,000 | 14,000 | | |
| 16年以上17年未満 | 134,300 | 124,700 | 110,300 | 86,300 | 57,500 | 12,800 | | |
| 17年以上18年未満 | 128,600 | 119,400 | 105,600 | 82,600 | 55,000 | 11,600 | | |
| 18年以上19年未満 | 122,900 | 114,100 | 100,900 | 78,900 | 52,500 | 10,400 | | |
| 19年以上20年未満 | 117,200 | 108,800 | 96,200 | 75,200 | 50,000 | 9,200 | | |
| 20年以上21年未満 | 111,500 | 103,500 | 91,500 | 71,500 | 47,500 | 8,000 | | |
| 21年以上22年未満 | 105,800 | 98,200 | 86,800 | 67,800 | 45,000 | 7,400 | | |
| 22年以上23年未満 | 100,100 | 92,900 | 82,100 | 64,100 | 42,500 | 6,800 | | |
| 23年以上24年未満 | 94,400 | 87,600 | 77,400 | 60,400 | 40,000 | 6,200 | | |
| 24年以上25年未満 | 88,700 | 82,300 | 72,700 | 56,700 | 37,500 | 5,600 | | |
| 25年以上26年未満 | 83,000 | 77,000 | 68,000 | 53,000 | 35,000 | 5,000 | | |
| 26年以上27年未満 | 77,300 | 71,700 | 63,300 | 49,300 | 32,500 | 4,400 | | |
| 27年以上28年未満 | 71,600 | 66,400 | 58,600 | 45,600 | 30,000 | 3,800 | | |
| 28年以上29年未満 | 65,900 | 61,100 | 53,900 | 41,900 | 27,500 | 3,400 | | |
| 29年以上30年未満 | 60,200 | 55,800 | 49,200 | 38,200 | 25,000 | 3,000 | | |
| 30年以上31年未満 | 54,800 | 50,900 | 44,900 | 34,900 | 22,900 | 2,600 | | |
| 31年以上32年未満 | 49,400 | 46,000 | 40,600 | 31,600 | 20,800 | 2,200 | | |
| 32年以上33年未満 | 44,000 | 41,100 | 36,300 | 28,300 | 18,700 | 1,800 | | |
| 33年以上34年未満 | 39,100 | 36,500 | 32,200 | 25,300 | 16,800 | 1,400 | | |
| 34年以上35年未満 | 35,000 | 32,500 | 28,500 | 22,500 | 15,000 | 1,000 | | |

備考

- この表に掲げる金額は、期間の区分欄の各欄に該当する期間に支給すべき初任給調整手当の月額を示す。
- この表において「1項職員」とは、第2条第1項の職を占める職員を、「2項職員」とは、同条第2項の職を占める職員を、「3項職員」とは、同条第3項の職を占める職員を、「4項職員」とは、同条第4項の職を占める職員をいう。
- この表において「1種」とは、第2条第1項第1号の職を占める職員を、「2種」とは、同項第2号の職を占める職員を、「3種」とは、同項第3号の職を占める職員を、「4種」とは、同項第4号の職を占める職員を、「5種」とは、同項第5号の職を占める職員をいう。
- この表において期間の区分欄に掲げる年数は、採用の日又は第4条各号の職員となつた日以後の期間を示す。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

住居手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十七号

住居手当に関する規則の一部を改正する規則

住居手当に関する規則（昭和四十九年十二月鳥取県人事委員会規則第三十三号）の一部を次のように改正する。

第一条中「第九条の四」の下に「及び職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（昭和五十年十二月鳥取県条例第四十三号。以下「改正条例」という。）附則第十一項」を加える。

第十一条を第十二条とし、第十条の次に次の一条を加える。

（経過措置）

第十一条 改正条例附則第十一項の人事委員会規則で定める事由は次の各号に掲げる事由とし、同項の人事委員会規則で定める日は当該各号に掲げる事由が生じた日の属する月の末日（その事由が生じた日が月の初日であるときは、その日の前日）とする。

一 改正条例による改正前の条例第九条の四第一項第一号に規定する職員たる要件を欠くに至つた場合

二 改正条例施行の際居住していた住居を変更した場合（前号に該当する場合を除く。）

三 改正条例施行の際居住していた住居の家賃の額が変更された場合において、改正条例附則第十一項の規定を適用しなかつたならば受けることとなる住居手当の額が同項の規定により受けるべき住居手当の額に達することとなつたとき。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

通勤手当の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十八号

通勤手当の支給に関する規則の一部を改正する規則

通勤手当の支給に関する規則（昭和三十三年十月鳥取県人事委員会規則第二十一号）の一部を次のように改正する。

第九条の二第一号中「八千円」を「二万円」に、「千円」を「千五百円」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

義務教育等教員特別手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第二十九号

義務教育等教員特別手当に関する規則の一部を改正する規則

義務教育等教員特別手当に関する規則（昭和五十年十二月鳥取県人事委員会規則第十九号）の一部を次のように改正する。

第三条中「、条例第十一条の三の規定による産業教育手当又は条例第十一条の六の規定による定時制通信教育手当を支給される期間を除き」を削る。

第四条第一号中「（第四号に掲げる職員を除く。）」を削り、「号給」の下に「（職務の等級の最高の号給を超える給料月額を受ける職員にあつては、その者の属する職務の等級の最高の号給。以下同じ。）」を加え、同条第二号中「（第四号に掲げる職員を除く。）」を削り、同条第三号中「次号」を「次号及び第五号」に改め、同条第四号を次のように改める。

四 前条に規定する職員のうち、条例第十一条の三の規定による産業教育手当（以下「産業教育手当」という。）又は条例第十一条の六の規定による定時制通信教育手当（以下「定時制通信教育手当」という。）を支給される職員で、農業若しくは水産に係る産業教育又は定時制教

育（夜間において授業を行う課程に係るものに限る。）若しくは通信教育に従事するもの、その者の属する職務の等級及びその者の受ける号給に対応する別表第二に掲げる額に四分の三を乗じて得た額（産業教育手当及び定時制通信教育手当の支給を受けない期間にあつては、別表第二に掲げる額）

第三条に次の一号を加える。

五 前条に規定する職員のうち、産業教育手当又は定時制通信教育手当を支給される職員で、前号に掲げる職員以外のもの、その者の属する職務の等級及びその者の受ける号給に対応する別表第二に掲げる額に四分の二を乗じて得た額（産業教育手当及び定時制通信教育手当の支給を受けない期間にあつては、別表第二に掲げる額）
別表第一及び別表第二を次のように改める。

別表第一 教育職給料表(ロ)の適用を受ける者(第四条関係)

| 職務の等級 号給 | 特 1 等 級 | 1 等 級 | 2 等 級 | 3 等 級 |
|-------------|---------|--------|--------|-------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 1 | 8,100 | — | 3,000 | — |
| 2 | 8,300 | 5,200 | 3,100 | 2,800 |
| 3 | 8,400 | 5,500 | 3,300 | 2,900 |
| 4 | 8,600 | 5,700 | 3,400 | 3,000 |
| 5 | 8,800 | 5,900 | 3,600 | 3,100 |
| 6 | 9,000 | 6,100 | 3,800 | 3,200 |
| 7 | 9,200 | 6,400 | 3,900 | 3,400 |
| 8 | 9,300 | 6,600 | 4,100 | 3,500 |
| 9 | 9,500 | 6,800 | 4,300 | 3,700 |
| 10 | 9,600 | 7,100 | 4,500 | 3,800 |
| 11 | 9,700 | 7,300 | 4,700 | 4,000 |
| 12 | 9,900 | 7,500 | 4,900 | 4,200 |
| 13 | 10,000 | 7,700 | 5,000 | 4,300 |
| 14 | 10,000 | 7,900 | 5,200 | 4,500 |
| 15 | 10,100 | 8,100 | 5,500 | 4,700 |
| 16 | | 8,300 | 5,700 | 4,800 |
| 17 | | 8,400 | 5,900 | 5,000 |
| 18 | | 8,600 | 6,100 | 5,100 |
| 19 | | 8,800 | 6,400 | 5,300 |
| 20 | | 9,000 | 6,600 | 5,400 |
| 21 | | 9,200 | 6,800 | 5,600 |
| 22 | | 9,300 | 7,100 | 5,700 |
| 23 | | 9,500 | 7,300 | 5,900 |
| 24 | | 9,600 | 7,500 | 6,000 |
| 25 | | 9,700 | 7,700 | 6,100 |
| 26 | | 9,900 | 7,900 | 6,200 |
| 27 | | 10,000 | 8,100 | 6,300 |
| 28 | | 10,000 | 8,300 | 6,400 |
| 29 | | 10,100 | 8,400 | 6,500 |
| 30 | | | 8,600 | 6,600 |
| 31 | | | 8,800 | 6,600 |
| 32 | | | 9,000 | |
| 33 | | | 9,200 | |
| 34 | | | 9,300 | |
| 35 | | | 9,500 | |
| 36 | | | 9,600 | |
| 37 | | | 9,700 | |
| 38 | | | 9,900 | |
| 39 | | | 10,000 | |

別表第二 教育職給料表(-)の適用を受ける者(第四条関係)

| 職務の等級 号給 | 特 1 等 級 | 1 等 級 | 2 等 級 | 3 等 級 |
|-------------|---------|--------|--------|-------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 1 | 8,100 | — | 3,300 | — |
| 2 | 8,300 | 6,100 | 3,400 | 2,800 |
| 3 | 8,400 | 6,400 | 3,600 | 2,900 |
| 4 | 8,600 | 6,600 | 3,800 | 3,000 |
| 5 | 8,800 | 6,800 | 3,900 | 3,100 |
| 6 | 9,000 | 7,100 | 4,100 | 3,200 |
| 7 | 9,200 | 7,300 | 4,300 | 3,400 |
| 8 | 9,300 | 7,500 | 4,500 | 3,500 |
| 9 | 9,500 | 7,700 | 4,700 | 3,700 |
| 10 | 9,600 | 7,900 | 4,900 | 3,800 |
| 11 | 9,700 | 8,100 | 5,000 | 4,000 |
| 12 | 9,900 | 8,300 | 5,200 | 4,200 |
| 13 | 10,000 | 8,400 | 5,500 | 4,300 |
| 14 | 10,000 | 8,600 | 5,700 | 4,500 |
| 15 | 10,100 | 8,800 | 5,900 | 4,700 |
| 16 | | 9,000 | 6,100 | 4,800 |
| 17 | | 9,200 | 6,400 | 5,000 |
| 18 | | 9,300 | 6,600 | 5,100 |
| 19 | | 9,500 | 6,800 | 5,300 |
| 20 | | 9,600 | 7,100 | 5,400 |
| 21 | | 9,700 | 7,300 | 5,600 |
| 22 | | 9,900 | 7,500 | 5,700 |
| 23 | | 10,000 | 7,700 | 5,900 |
| 24 | | 10,000 | 7,900 | 6,000 |
| 25 | | 10,100 | 8,100 | 6,100 |
| 26 | | | 8,300 | 6,200 |
| 27 | | | 8,400 | 6,300 |
| 28 | | | 8,600 | 6,400 |
| 29 | | | 8,800 | 6,500 |
| 30 | | | 9,000 | 6,600 |
| 31 | | | 9,200 | 6,600 |
| 32 | | | 9,300 | 6,700 |
| 33 | | | 9,500 | 6,800 |
| 34 | | | 9,600 | 6,900 |
| 35 | | | 9,700 | 6,900 |
| 36 | | | 9,900 | |
| 37 | | | 10,000 | |

附 則
この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

警察職員の退職手当の額から控除する額に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第三十号

警察職員の退職手当の額から控除する額に関する規則の一部を改正する規則

警察職員の退職手当の額から控除する額に関する規則（昭和四十年三月鳥取県人事委員会規則第十号）の一部を次のように改正する。

| | |
|-----|------|
| 別表中 | 23.2 |
| | 17.8 |
| | 11.7 |
| | 8.6 |
| | 7.1 |
| | 5.4 |
| | 5.1 |
| | を |
| | 25.4 |
| | 19.5 |

に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

職員の旅費に関する条例施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県人事委員会委員長 森 本 繁 蔵

鳥取県人事委員会規則第三十一号

職員の旅費に関する条例施行規則の一部を改正する規則

職員の旅費に関する条例施行規則（昭和四十五年七月鳥取県人事委員会規則第二十五号）の一部を次のように改正する。

別表第一中「別表第一」を「別表第一（第四条関係）」に改め、同表の

医療職給料表(ロ)の項中

| | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|----------|
| 一等級のうち七号 | 一等級のうち六号 | 二等級のうち九号 | 三等級のうち九号 | 四等級及び五等級 |
| 給以上 | 給以下及び | 級以下及び | 給以下 | |
| 給以上 | び三等級のうち十号 | び三等級のうち十号 | 給以上 | |

に改める。

を

| | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|-------|
| 二等級のうち七号 | 二等級のうち六号 | 三等級のうち九号 | 四等級のうち九号 | 五等級及び |
| 給以上 | 給以下及び | 給以下及び | 給以下 | |
| び三等級のうち十号 | び三等級のうち十号 | び四等級のうち十号 | 給以上 | |

別表第二中「別表第二」を「別表第二（第十条関係）」に改める。

別表第三中「別表第三」を「別表第三（第十四条関係）」に改める。

別表第四中「別表第四」を「別表第四(第十八条関係)」に改める。
別表第五中「別表第五」を「別表第五(第十九条関係)」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和五十年十月一日から適用する。

企 業 管 理 規 程

企業職員の給与に関する規程の一部を改正する企業管理規程をここに公布する。

昭和五十年十二月二十五日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

鳥取県企業管理規程第四号

企業職員の給与に関する規程の一部を改正する企業管理規程

企業職員の給与に関する規程(昭和四十一年十二月鳥取県企業管理規程第二号)の一部を次のように改正する。

第八条第二項第一号中「百五十円」を「百八十円」に改め、同項第二号中「二百円」を「二百四十円」に改める。

第九条第二項中「百五十円」を「百六十円」に改める。

第十条第二項中「二百九十円」を「三百九十円」に改める。

第十三条第二項中「二百三十円」を「三百十円」に改める。

第十三条の二第二項中「百五十円」を「二百十円」に改める。
第十三条の三第二項中「三百円」を「三百九十円」に改める。

附 則

1 この企業管理規程は、公布の日から施行し、昭和五十年四月一日から適用する。

2 改正前の企業職員の給与に関する規程の規定に基づいて、昭和五十年四月一日からこの企業管理規程の施行の日の前日までの間に企業職員に支払われた特殊勤務手当は、改正後の企業職員の給与に関する規程の規定による特殊勤務手当の内払とみなす。

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

発行所 鳥取県鳥取市東町一丁目 鳥 取 県

【定価一部】簡月五百円(送料を含む。)